

## は じ め に

日本一ともいわれる雄大な河岸段丘の上に、田畑や森林が大きく広がり、信濃川が心地よい風を運びながらゆったりと流れています。

この風景の中で、子どもたちが満面の笑顔で健やかにたくましく成長していくことは全町民の願いであり、子どもは津南の最も大切な宝です。

しかし、全国的にも少子化が急速に進行しており、合計特殊出生率は、現在の人口を将来も維持するのに必要な水準とされる2.08を大きく下回る1.34(平成19年)、当町においても1.78となっています。

出生数の減少は、広大な面積に集落が点在する当町にあって、集落内に同年代の子どもがいないなど、かつて経験したことのない状況も生まれ、子どもを取り巻く生活環境も大きく変化しております。

加えて、長引く不況、国家財政の危機的状況など社会経済環境も厳しさを増しているところでもあります。

このような中、子育て支援を充実させることは不可欠であり、平成17年4月に次世代を担う子どもたちが健やかに成長し、子育て家庭が安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援する「津南町次世代育成支援対策行動計画」を策定し、子育て支援センター開設や一時保育など各種事業を通じて子育て支援の施策を進めてまいりました。

この計画は「津南町次世代育成支援対策行動計画」の後期計画として位置づけ、平成17年度から平成21年度の取組みを検証し、今後5年間の子育て支援のさらなる充実を目指したものです。

今後も、当町にふさわしい子育て支援のサービスを創意工夫し、国・県をはじめ、町民、地域、企業、関係機関・団体とっその連携と協働を図り、この計画の着実な推進に努めてまいる次第です。

次世代を担う津南の子どもたちが将来に向かって大きく羽ばたけるよう、さらなるご協力とご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この計画書策定にあたりご尽力いただきました「町づくり検討委員」「次世代育成支援対策地域協議会」の皆様、アンケート調査へのご協力、貴重なご意見をいただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

平成22年3月

津南町長 小林三喜男